

(学年) 第3学年、(教科・科目) 家庭科・家庭基礎

一斉学習

(単元) 第2部 生活を営み、自立する

第2章 着る

1 被服の機能と着装

(本時のねらい)

第2章「着る」の学習の導入として、衣服を着る意義について考えながら、TPOに応じたコーディネートを行い発表し、被服の機能と着装について主体的に学ぶ態度を促す。

(ICT活用方法)

流行色、色合わせ及びデザインをインターネット等で調べ、授業支援クラウドアプリで配信したノートにまとめたものを電子黒板に投影し発表する。評価についてコラボレーションプラットフォームを利用してQRコードで集計する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・発表の手順を確認する。	・発表態度、時間配分及び評価について説明する。	
展開 40分	・設定理由を説明し、コーディネートで工夫したことをまとめて発表及び質疑応答を行う。	・どんなときにどのような衣服を着用するかを考えさせながら、健康面、機能面や心理面などにも関わっていることを知らせる。	・授業支援クラウドアプリで作成したコーディネートのノートを電子黒板に投影し発表する。 ・発表が終了する度に、コラボレーションプラットフォームのQRコードを利用して集計をする。
まとめ 5分	・本時のまとめを聞く。	・着装は人間だけが行う行為であることを認識させる。	

(授業の様子)



(生徒の反応と課題、改善を要する点)

年齢や場所など多様な設定をしてコーディネートをしており、級友との質疑応答も将来的な展望も含まれており、個性的な着装に関して互いに興味・関心を抱いていたように見受けられた。QRコードを利用した評価の集計は、生徒の意欲の向上を促すことができた。